



アドビ システムズ、ソフトバンク・テクノロジーと協業し、 SBI 証券へ Adobe Analytics を導入

Web サイト最適化のための PDCA を加速

【2013 年 7 月 31 日】

アドビ システムズ 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：クレイグ ティーゲル 以下 アドビ システムズ）は、ソフトバンク・テクノロジー株式会社（代表取締役社長 CEO: 阿多 親市、本社：東京都新宿区、以下 SBT）により、オンライン証券大手の株式会社 SBI 証券（本社：東京都港区、代表取締役社長：高村 正人、以下 SBI 証券）が運営する顧客向けの Web サイトに対し、アドビのデジタルマーケティングソリューションのうちの分析ソリューション、[Adobe® Analytics](#) が導入されたことを発表いたします。

SBI 証券は、2012 年 8 月に Web アクセス解析ツールとしてアドビ システムズの Adobe® SiteCatalyst を導入し、本格的に計測を開始しました。今回、分析機能がより強化された Adobe Analytics を導入、運用を始めており、今後さらに活用していくことで、Web サイト分析に必要なデータの収集、およびレポート業務の自動化、担当部門間での分析データ活用や共有推進といった、Web サイトの最適化に向けたスピーディな PDCA サイクルの実現を目指します。

また、SBT は今回の導入に際して、Web コンサルティングサービス「SIGNAL」による収集したデータの有効的な活用方法の提案、および全社展開の支援を行っています。SBT は引き続き、分析レポートの自動配信による「見える化」の促進や、データに基づいた Web マーケティングにおける PDCA サイクルの浸透を通じ、SBI 証券において Adobe Analytics が共通のデータ基盤となるよう推進します。

SBI 証券は、SBI ホールディングス傘下の SBI グループ会社の一員として、インターネットでのオンライン証券取引を中核に、国内株式や外国株式、投資信託、外国債券、FX 等、幅広い商品やサービスを取り扱うオンライン総合証券として展開しています。SBI 証券ではこれまで、Web サイトの効果を測るために独自でアクセス解析を実施していましたが、より深い解析に適したデータの取得や集計とともに、レポート業務を進化させる必要があると考えておりました。

SBT は、これらの課題を抱える SBI 証券に対し、アドビ システムズの協力のもと、課題を解決するためのソリューションとして Adobe Analytics を提案し、業種や Web サイトの構造に合わせて柔軟にデータ取得ができることやデータ集計が自動で行えることなどが高く評価され、採用に至りました。

Adobe® Analytics について

Adobe Analytics は、デジタルマーケティングのためのサービス「Adobe Marketing Cloud」を構成するソリューションの一つで、企業の設定するビジネスの目標と、その実現に向けた理想的なサイト運営を可能にするクラウド形式の分析ソリューションです。Adobe Analytics の最大の特徴は、リアルタイムレポートを行っている事により欲しい情報をタイム

リーに引き出せることです。また、出稿した広告媒体からの動向追跡、検索キーワード集計、商品のカテゴリ、キャンペーンごとの効果やコンバージョン率を測定可能なため、売上やキャンペーンと連動した Web サイト分析が可能となります。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、世界を動かすデジタル体験を提供します。

アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。

Adobe and the Adobe logo are registered trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

© 2013 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.